



▲ Personal Area

1人で作業を進める場合に利用する。周囲に配慮すればオンライン会議も可能。右奥には作業に集中できるよう会議や私語が禁止のエリアもある

いまどき オフィス探訪

1日の大半を過ごすオフィス。せっかくならば、働きやすい環境を整えたいところ。いまどきのオフィスを訪ね、これからのオフィス環境のあり方を探ります。

出社体験を向上させる！ ハイブリッドワークを 実現するオフィス



▲個室タイプのブース

訪問時にはほぼすべてが使用中であった。音が漏れないため、オンライン会議にも適している

同社のロゴマーク▶

社員の手形で作られたロゴマーク。壁や柱の色塗りなども社員が参加し、あえて手作り感が出るようにしている

株式会社マネーフォワード

- 所在地 東京都港区芝浦
- 業種 個人・法人向けの金融系 Web サービス
- 従業員 2,058名



アフターコロナを見据え、2023年にオフィスを大幅にアップグレードした株式会社マネーフォワード。すでに定着したリモートワークの利点は残しつつ、社員の出社体験にこだわったという同社を訪ねた。

社員が出社したくなる オフィス

個人・法人向けの金融系 Web サービスを提供する株式会社マネーフォワードは、事業領域の拡大による人員の増加に伴ってオフィスを改装・増床し、2023年3月16日より新フロアの稼働を開始した。

「出社体験をよくする」というテーマのもと、新フロアには「仕事のしやすさ」と「メンバー同士が交流できる」ことを追求したエリアを新設。

「仕事のしやすさ」を重視したエリアには、目的に応じてチームと個人で使い分ける執務スペースが設けられた。

チームで利用する「Team Area」は、メンバーが向かい合って一緒に作業を進められる。チームビルディング（目標達成に向けた個々の経験や能力を活かし



▲ 1 on 1 ミーティング用のブース
ブースや会議室等の予約・入退室は、専用のシステムやクラウド上のカレンダーで管理している



▲ 人員の増加に伴い、会議室も数多く新設された



▲ Connect Area 内のバーカウンター
平日の18時以降にはアルコールなどのフリードリンクも提供されるなど、社員同士の交流が生まれる工夫が施されている



▼ Team Area

チーム単位で利用するエリア。メンバーが向き合うように座席が配置され、共通のプロジェクトを進める際などに利用する

▼ Connect Area 概観

少人数でのミーティングや休憩はもちろん、自由参加のイベント開催、部署の打ち上げ、退社後の待ち合わせなどにも使われる



たチームづくり)や、オンボーディング(新メンバーの早期定着・戦力化の取組み)にも適しており、周囲に気を遣うことなく積極的に意見を交わすことができる。

個人用の「Personal Area」は、1人で作業を進めたい場合のエリア。さらに黙々と集中したい場合には、私語や会議が原則禁止のエリアもある。

「メンバー同士が交流できる」エリアは、「Connect Area」。コロナ禍での採用数増加とリモートワークの定着により、同社では「出社しても知らない人ばかり」という状況が増えたという。そこで、新たな出会いや交流が生まれる環境づくりに力を入れた。社員同士が刺激を与え合いながら成長し、人生を豊かにするコミュニケーションが生まれる場所にした、というのが狙いだ。

現在、同社では出社日の増加に伴いオフィスに多くの社員が集うようになったが、他の営業拠点との打合せなど、リモート需要は確実に存在する。それらの需要に応えつつ、出社時の生産性向上やチームの連携強化に資する同社オフィスは、まさにハイブリッドワーク実践の場と言える。